

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月6日	記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	経済部	課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
平成19年度部名	経済部	課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
事務事業名	相模湖記念館運営事業費				
予算上の事務事業名	相模湖記念館運営事業費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		35210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます				
基本施策名	第2節 観光の振興と余暇対策の推進				
施策名	第1施策 魅力ある観光資源の整備と情報発信				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市相模湖記念館条例、同条例施行規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント	5 事業開始年度	平成12年度		
6 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>「相模湖」は、河川を総合利用するための目的として、相模川をせき止めて造られた相模ダムにより出来た人造湖です。1940年から7年の歳月をかけ、幾多の困難を乗り越えて完成した。このダムは、京浜工業地帯の発達にもとらう上水道、工業用水、電気の不足を解消し多くの人々に今もなお恩恵をもたらしています。</p> <p>相模湖記念館は、このダム建設事業の意義を風化させることなく次代に伝え、生命の営みに欠かすことの出来ない「水」について問い直すための施設です。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>来場者(市民、市外在住者)</p> <p>(3) 平成19年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>平成18年度実績 県立相模湖交流センターと併用施設 施設内容 相模湖町タウンマップ、相模湖とダムの仕組み、ダムの役割、電気体験施設 イベント なし 来場者数 20,111人 運営費 2,482千円 修繕100千円 賠償保険10千円 展示保守 1,420千円 用地借地料952千円 (対応職員1名 相模湖交流センター内事務所にて執務)</p>				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	小原の郷				
8 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	2,482	2,482	2,482
一般財源			2,482	2,482	2,482
受益者負担金			0	0	0
その他の特定財源			0	0	0
人件費の合計	0	0	493	493	493
事業コスト合計	0	0	2,975	2,975	2,975
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	相模湖記念館運営費		対象名称 と単位	運営費決算額/来場者*100 決算額に対する一人当たりの経費	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)			2,482	2,482	2,482
対 象 数			20,111	20,200	20,200
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	123	123	123
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.00	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	事業費に対する経費	指標式と指標の説明	事業費/来場者数 決算額に対する来場者一人当たりの経費（円）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			123		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	81.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	運営費100円あたりの来場者数（人）	指標式と指標の説明	来場者数/運営金額*100円 補助金額100円に対する来場者数（費用対効果）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	#DIV/0!	#DIV/0!	0.8		
目標			5.0	5.0	5.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	16.2		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		相模湖の歴史を紹介している施設として充実を図りたい。同時に来客者の集客に勤めたい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策 来場者の増加のため、PRの充実、市民参加型、市民のアイデアを取り入れる仕組みづくりを進めたい。			15 課題として認識されたこと 交流センターとの併合施設により事務は全て交流センターにて行っている。管理部署の一元化が必要。施設内の設置装置に故障も多く目的に合った施設の検討が必要		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			